

## <項目説明・点検一覧>

■以下の項目の記載内容に不備がないことを団体様にてご確認のうえ、

NSSへ送付ください。

### 1. ゆうちょ銀行以外をご利用の場合

項目	ご説明	確認欄
申込日	(〔西暦〕 年 月 日)に申込日付をご記入ください。	
金融機関欄	預金通帳をお手元にご準備いただき、記載されている内容を確認のうえ、次の項目について、もれなく正確にご記入ください。	
金融機関名	3.NSS 取扱金融機関 を確認のうえ、ご記入ください。	
業態	金融機関の業態(銀行、信託銀行、信用組合等)を○で囲んでください。	
支店名	通帳記載のとおり、ご記入ください。(支店名が変更の場合は新支店名)	
預金種目	該当する預金種目(1.普通(総合)、2.当座)を○で囲んでください。	
口座番号	口座番号は右づめで記入し、空欄は “〇” でうめて下さい。	
フリガナ	通帳の記載どおりにフリガナを必ずご記入ください。 ※法人口座の場合、代表者名・肩書きのフリガナは不要です。 ※姓と名の間は1字空けてください。 また、濁点、半濁点は1字分としてご記入ください。	
口座名義人	金融機関へのご登録どおり正確にご記入ください。 ※法人口座の場合、会社名・金融機関お届けの肩書き・代表者名を 省略せずに正確にご記入下さい。	
お届出印	必ず金融機関に届出済のご印鑑を押印ください。不鮮明な場合は欄外に捨印を押印ください。 ※印鑑レス口座をご利用の場合は、サインまたは認印をお願いします。	

※ボールペン等ではっきりと記入ください。（鉛筆書きは不可です）

※訂正する場合は、二重線を引き、訂正印(金融機関お届出印)を押印ください。

また、修正液・テープは使用不可です。

※依頼書の記入に不備のある場合、金融機関で受付いただけません。依頼書が不備となった場合は、新しい用紙で再度お手配ください。

次の項目は、不備となる場合が多いので特にご注意ください。

- (1) 印鑑相違、または印鑑不鮮明
- (2) 口座名義人の記載事項相違
  - ・法人の場合、法人略称不可（株式会社：○、(株)：×）。
  - ・法人の場合、代表者名、肩書きの記載漏れや相違(字体相違も含む)。
- (3) 業態、預金種目、口座番号の記載漏れ

## 2. ゆうちょ銀行をご利用の場合

項目	ご説明	確認欄
申込日	(〔西暦〕 年 月 日)に申込日付をご記入ください。	
ゆうちょ欄	預金通帳をお手元にご準備いただき、記載されている内容を確認のうえ、次の項目について、もれなく正確にご記入ください。	
通帳記号	通帳記号をご記入ください。	
通帳番号	通帳番号は右づめで記入し、空欄は”〇”でうめて下さい。 ※下1桁(右端)は必ず「1」となります。（「1」と記載済みです）	
カナ (必須)	通帳の記載どおりにフリガナを必ずご記入ください。 ※法人口座の場合、代表者名・肩書きのフリガナは不要です。 ※姓と名の間は1字空けてください。 また、濁点、半濁点は1字分としてご記入ください。	
口座名義人	金融機関へのご登録どおり正確にご記入ください。 ※法人口座の場合、会社名・金融機関お届けの肩書き・代表者名を省略せずに正確にご記入下さい。	
お届出印	必ず金融機関に届出済のご印鑑を押印ください。不鮮明な場合は欄外に捨印を押印ください。	

※ボールペン等ではっきりと記入ください。（鉛筆書きは不可です）

※訂正する場合は、二重線を引き、訂正印(金融機関お届出印)を押印ください。

また、修正液・テープは使用不可です。

※依頼書の記入に不備のある場合、金融機関で受付いただけません。依頼書が不備となった場合は、新しい用紙で再度お手配ください。

次の項目は、不備となる場合が多いので特にご注意ください。

- (1) 印鑑相違、または印鑑不鮮明
- (2) 口座名義人の記載事項相違
  - ・法人の場合、法人略称不可（株式会社：○、(株)：×）。
  - ・法人の場合、代表者名、肩書きの記載漏れや相違(字体相違も含む)。
- (3) カナ、通帳記号、通帳番号の記載漏れ

### 3. NSS 取扱金融機関

※詳細は当社ホームページをご確認ください。

ご利用可能な金融機関		
都市銀行・ゆうちょ銀行	全行	
地方銀行・第二地方銀行	全行	
信用金庫	全金庫	
労働金庫	全金庫	
信用組合	125 組合	
農協	585 組合	
信託銀行	右記 4信託	三井住友信託銀行、みずほ信託銀行 三菱 UFJ 信託銀行、SMBC 信託銀行 ※ただし、8日振替の場合、みずほ信託銀行、SMBC 信託銀行は利用不可。
その他	右記 9行	SBI 新生銀行、商工中金、PayPay 銀行、住信 SBI ネット銀行、セブン銀行、楽天銀行、ソニー銀行、イオン銀行、GMO あおぞらネット銀行

※外国銀行、漁業協同組合は利用できません。

### 4. 法人のフリガナ記入時の法人種類の省略方法

法人の種類	先頭	末尾
株式会社	カ)	(カ
有限会社	コ)	(コ
合名会社	メ)	(メ
合資会社	シ)	(シ
合同会社	ド)	(ド
医療法人	イ)	(イ
財団法人	ザイ)	—
社団法人	シヤ)	—
宗教法人	シユウ)	—
学校法人	ガク)	—
社会福祉法人	フク)	—
特定非営利活動法人	トクヒ)	(トクヒ